

GREEN RADAR

Vol.485
2019

10

Contents

A-Policy【重点事業方針】

- ・2019年度 ブドウ販売の進め方
- ・JA配達灯油 冬のあったか応援キャンペーンの展開

A-Reports

- ・第40回信州肉牛県内産枝肉共励会 3
- ・第16回信州アルプス牛枝肉共励会 4
- ・2019 なんしんフラワーフェア 5
- ・中古農機情報サイトを開設 6
- ・京都青果合同㈱でJA長野ハケ岳トップセールス 6
- ・スマート農業研修会開催 7
- ・「シナノリップ」2年目の販売 8
- ・松本山雅FCアウェイ戦でナガノパープルをPR 8

- ・新採用職員紹介 9

A-Board

- ・フルーツフォトコンテスト「パシャフル!」開催中 9
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・10月の動き 10
- ・10月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10



果実課

2019年度ブドウ販売の進め方

JA全農長野生産販売部果実課は今年度も年度当初の事業方針に沿ってこれまで取組みを進めており、ブドウの販売につきましては折り返し地点となっています。

従来の店頭での販促やマスメディアにおけるPRに加え、重点事項として以下の取組みを実施しています。

①長野県産ブドウ生産販売強化プロジェクト

今年度から長野県産ブドウの販売力強化を目的として、主産地のJA担当者や生産・販売両面においてプロジェクトを開始しています。

具体的にはシャインマスカットの品質向上に向けた栽培指導に関する意見交換会の実施や、新品種ブドウ長果G11（商標名／クイーンルージュ®）の

販売戦略策定といった内容です。

②ギフトボックスの作成

長野県産ブドウは生産者の皆様の努力により品質が認められ、贈答用としても消費者から高い評価を得ています。今年度は第1弾としてシャインマスカットの化粧箱を作成し、貯蔵期から販売を始める予定です。他品種でも販売状況により作成することを検討しています。

③9月23日「長野県ぶどうの日」認定

「長野県りんごの日」に続きブドウの消費宣伝の軸となる日を制定し、（一社）日本記念日協会に認定をいただきました。今後、長野県産ブドウを消費者が「食べてみたい！」と購買意欲を高めていただけるようPRを進めてまいります。

④ブドウ長果G11（商標名／クイーンルージュ®）の生産販売検討
今年度より苗の供給が開始されたブドウ長果G11（商標名／クイーンルージュ®）については長野県行政、長野県果樹試験場と共に品種特性の見極めと流通関係者に対する求評を行っています。生産者の皆様安心して栽培・出荷を行っていただけるよう情報の収集を行ってまいります。

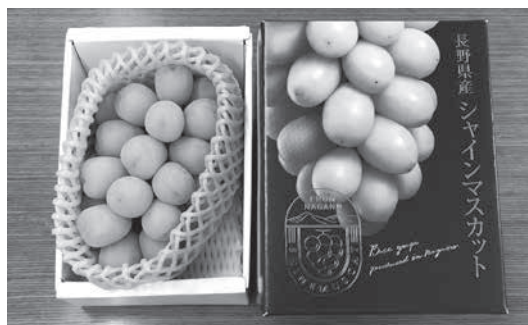
⑤輸出

今年度も引き続き生産者の手取り最大化を目的として、取組みを進めています。具体的には現行のルートに加え、主力の香港・台湾における韓国・中国産の動向や消費者ニーズの把握を継続的に実施し、将来的に安定した取り引きの構築を図っております。またアジアのその他の国の調査を行い、将来的なマーケットの可能性について探っています。

4月から始まった今年度の販売も残すところ4か月です。次年度産以降も消費者から選ばれる長野県産ブドウとなることを目指し、各種事業を進めます。



シャインマスカット房づくり講習会



シャインマスカット一房化粧箱



長野県ぶどうの日認定でマスコミの取材を受ける生産販売部の岩崎直樹部長

燃料・ホームエネルギー課

JA配達灯油 冬のあったか応援キャンペーンの展開

冬場に需要期を迎える灯油は、農家組合員の生活・営農を支える大切なエネルギーであるとともに、JA燃料事業の経営を支える重要な商品です。現在、県下JAでは、約11万戸の農家組合員・利用者に「JA配達灯油」をご利用いただいておりますが、灯油需要の減少や異業種業者の灯油配送事業への参入などを背景に、灯油配送事業における市場環境は年々厳しさを増しています。

このような情勢をふまえ、県下JAでは既存のお客様に継続的にご利用いただくことに視点を当てた取組みを進めています。

その取組みの中心として、本年度も県下JA（一部JA除く）にて「JA配達灯油 冬のあったか応援キャンペーン（2019年10月～12月）」を展開します。昨年度、県下JAでの統一キャンペーンとして実施したところ、合計4,852件の応募があり、組合員・利用者の皆様に大変ご好評をいた

できました。

今年はより多くの皆様にキャンペーンに参加いただけるよう、JA配達灯油（合計200Lを一口）をご利用いただく自動的に応募完了となる自動応募方式（一部JA除く）とし、商品本数も1,000本と昨年度と比較して大幅増となりましたので、引き続き

JA配達灯油のご利用をお待ちしております。

今後とも様々な取組みを通じて顧客満足度の向上を追求するとともに、配送効率化を進める事で、事業基盤の強化を図り、燃料油配送事業でも組合員・利用者の営農・生活を支援してまいります。

JA配達灯油 配達灯油でポカポカ!!

JA配達灯油 冬のあったか応援キャンペーン

抽選で 1,000名様に JAまごころ商品券をプレゼント!

長野県内のキャンペーン実施JAのJA配達灯油を合計200L以上ご利用で

キャンペーン期間 2019年10月1日(火)～2019年12月31日(火)

JAまごころ商品券 50,000円分 (10名様)
A賞 JAまごころ商品券 10,000円分 (50名様)
B賞 JAまごころ商品券 5,000円分 (100名様)
C賞 JAまごころ商品券 2,000円分 (840名様)

詳しくは裏面をご覧ください。

【キャンペーン実施JA】	
JA佐久浅間	
JA信州うえだ（ジェイエイサービス）	
JA上伊那	
JAみなみ信州	
JA木曽	
JA信州諏訪	
JA松本ハイランド	
JA塩尻市	
JA洗馬	
JAあづみ	
JA大北	
JAグリーン長野	
ジェイエイ・アップル㈱	
JAながの	

JA配達灯油 配達灯油でポカポカ!!

JA配達灯油 冬のあったか応援キャンペーン

期間中、長野県内のキャンペーン実施JAのJA配達灯油をご利用いただくと、合計200Lを1口として、下記の賞品を抽選で合計1,000名様にプレゼント!

キャンペーン期間 2019年10月1日(火)～2019年12月31日(火)

キャンペーン賞品	特賞	A賞	B賞	C賞
JAまごころ商品券	50,000円分 (10名様)	10,000円分 (50名様)	5,000円分 (100名様)	2,000円分 (840名様)

応募方法
期間中、キャンペーン実施JAのJA配達灯油を合計200Lを1口として、システムにより自動応募となります。賞品はお選びいただけません。

第40回信州肉牛県内産枝肉共励会

～生まれも育ちも長野県産の和牛をPR～

JA長野県・信州肉牛生産販売協議会とJA全農長野は7月30日(火)、大阪市食肉市場(株)で「第40回信州肉牛県内産枝肉共励会」を開催しました。今年は遅い梅雨明けとなり、本格的な和牛需要が高まる大阪で、生まれも育ちも長野県、の和牛34頭を出品上場しました。

「信州和牛」の中でも、オレイン酸値の評価を取り入れた「信州プレミアム牛肉」は、購買者からも「信ブレ」の愛称で呼ばれ、注目を集めており、この日も大勢の購買者の皆様にご来場いただきました。

セリ販売に先立ち枝肉の審査も行われ、最優秀賞には南信酪農協の中原洋さんの去勢牛が選ばれました。枝肉重量は577.0kg、ロース芯面積100cm²と充分な大きさ、霜降り度合いを示すBMSナンバーは12と最高の評価でした。出品牛のうち4等級以上の比率が97%、5等級は56%と優秀な枝肉が揃い、市場関係者からも高い評価をいただきました。



あいさつをする畜産酪農部の平林務部長

今後畜産課では、更なる「信州プレミアム牛肉」の認知度向上を図り、市場での有利販売による生産者手取り最大化を目指して、販売促進対策を実施していきます。



最優秀賞を受賞した枝肉

第40回信州和牛県内産枝肉共励会入賞者(敬称略)

賞	JA名	生産者	性別
最優秀賞1席	南信酪農協	中原 洋	去勢
優秀賞	洗馬	安塚 初男	去勢
〃	みなみ信州	株式会社ファームみなみ信州	去勢
優良賞	木曾	黒内 拓美	去勢
〃	長野八ヶ岳	津金 武幸	去勢
素牛生産者賞	上伊那	窪田 俊男	一

共励会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和牛去勢	563.5kg	2,529円
和牛雌	483.4kg	2,460円



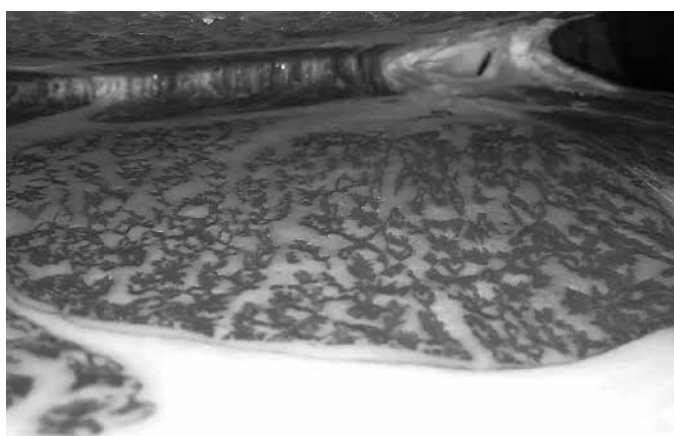
第16回信州アルプス牛枝肉共励会

～最優秀1席にJA松本ハイランド小林勝さん～

JA長野県・肉牛生産販売協議会とJA全農長野は9月6日(金)、(株)長野県食肉公社で「第16回信州アルプス牛枝肉共励会」を開催しました。「信州アルプス牛」とは、和牛と乳用種の掛け合わせにより生産された「交雑牛」です。

共励会には、県内交雑牛生産者により丹精込めて育てられた選りすぐりの交雑牛30頭が出品され、去勢では3等級以上比率61.5%(4等級以上比率25.0%)、雌では3等級以上比率72.2%(4等級以上比率22.2%)と品質に優れた共励会となりました。最優秀賞1席にはJA松本ハイランドの小林勝さん、最優秀2席にはJA佐久浅間の高塚賢一さんが選ばれました。

この共励会に出品された多くの牛が、(株)長野県A・コープで9月13日(金)から15日(日)に開催された「信州農畜産物まつり」で販売され、お客様から、改めて信州アルプスに対する高評価をいただきました。また、5店舗(ファーマーズうえだ店、ファーマーズ篠ノ井店、



最優秀賞を受賞した枝肉

第16回信州アルプス牛枝肉共励会入賞者(敬称略)

賞	JA名	生産者	性別
最優秀賞1席	松本ハイランド	小林 勝	去勢
最優秀賞2席	佐久浅間	高塚 賢一	雌
優秀賞1席	佐久浅間	山浦 建夫	去勢
優秀賞2席	佐久浅間	寺島 義則	雌
優良賞	佐久浅間	矢島 芳行	去勢
〃	信州うえだ	前田 春香	雌
〃	上伊那	直販伊那農場	雌

共励会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
交雑牛去勢	551.1kg	1,698円
交雑牛雌	506.7kg	1,662円



畜産課の井出和士課長から表彰を受ける最優秀賞の小林さん(右)

2019 なんしんフラワーフェア

なんしんフラワーフェア推進協議会（構成団体／JA信州諏訪、JA上伊那、JAみなみ信州、JA全農長野中信事業所・南信事業所）は、9月5日（木）と6日（金）の2日間、「2019なんしんフラワーフェア」を富士見町のJA会館ふじみで開催しました。

今年で33回目の開催となり、南信地域3JA管内の生産者が育てたキク、カーネーション、ダリア、トルコギキョウ、アルストロメリアなどが出品された品評会をはじめ、切花の即売会、新品種や園芸・農業関係資材の展示を行いました。今年は春先から低温傾向で推移し、また長梅雨による低日照や梅雨明けの酷暑など非常に厳しい栽培環境のなか、生産者やJA関係者のご努力により合計269点の出品がありました。

品評会での審査の結果、関東農政局長賞に選ばれた三井静明さん（JA信州諏訪）の輪ギク「岩の白扇」をはじめ、花色、草姿、バランや市場性などが評価された合計29点が入賞しました。厳しい栽培環境ではありましたが出品された切花のレベルは総じて高く、特に関東農政局長賞を受賞した三井静明さんの輪ギクは花の揃いが良くボリュームがあり、

葉色も適切で、草姿バランスの優れている点が評価されました。

また6日には地元富士見町立富士見小学校6年生82名が、「花育」活動の一環として会場内で行ったフラワーアレンジメント教室に参加し、フラワーアレンジメント作りを体験してもらいました。あわせて、教室に参加した生徒を対象に品評会会場で模擬審査会を開いて、各自が一番気に入った花に投票し、花に親しみを持ってもらいました。

会場であるJA会館ふじみは今回が初めての開催となりましたが、広く南信地域の切花をPRすることができ、盛大に開催することが出来た。今後も南信・中信地域の産地で連携を深めながら、花きの生産振興と消費宣伝に努めてまいります。



2019なんしんフラワーフェア入賞者名簿（敬称略）

賞	品目名	品種名	氏名	JA名
関東農政局長賞	輪ギク	岩の白扇	三井 静明	JA信州諏訪
長野県知事賞	アルストロメリア	ピンクティアラ	小笠原 秀樹	JA上伊那
長野県農協中央会会長賞	トルコギキョウ	ハピネスホワイト	藤森 英一	JA信州諏訪
長野県農協中央会会長賞	スタンダードカーネーション	セイシェル	名取 靖	JA信州諏訪
全農長野本部会長賞	輪ギク	岩の白扇	伊藤 幸彦	JA信州諏訪
全農長野本部会長賞	アルストロメリア	カプリ	古畑 雅一	JA上伊那
長野県地域振興局長賞	トルコギキョウ	ボネージャイトレシラ	小池 真喜	JA信州諏訪
長野県地域振興局長賞	リンドウ	アルプスの蒼風	遠藤 清保	JA信州諏訪
JA南信地区協議会長賞	ダリア	オガスタ	末永 千秋	JA上伊那
JA南信地区協議会長賞	スタンダードカーネーション	インカローズ	大平 正彦	JAみなみ信州
農業協同組合会長賞	宿根カスミ草	アルタイル	小池 義泉	JA信州諏訪
長野県農協中央会営農支援室長賞	宿根カスミ草	深志の匠	矢崎 深志	JA信州諏訪
長野県農協中央会営農支援室長賞	スタンダードカーネーション	ハートファイア	三井 正子	JA信州諏訪
全農長野本部事業所長賞	アルストロメリア	ピュアブルー	有賀 美和	JA上伊那
中部圏信州花き販売推進協議会長賞	スタンダードカーネーション	マンダレイ	中平 直直	JAみなみ信州
中部圏信州花き販売推進協議会長賞	トルコギキョウ	オーブイエロー	小池 直志	JA信州諏訪
東京地区長野県花き推進協議会長賞	観賞用とうがらし	ヨカルフランク	矢崎 哲男	JA信州諏訪
東京地区長野県花き推進協議会長賞	観賞用とうがらし	ヨカルフランク	中村 清郎	JA信州諏訪
京阪神地区信州花き推進協議会長賞	トルコギキョウ	ミンクローズ	福本 政士	JAみなみ信州
京阪神地区信州花き推進協議会長賞	トルコギキョウ	ミンクローズ	名取 照雄	JA信州諏訪
なんしんフラワーフェア推進協議会長賞	輪ギク	岩の白扇	唐澤 勲	JA上伊那
なんしんフラワーフェア推進協議会長賞	スタンダードカーネーション	スーパーイエロー	日達 清彦	JA信州諏訪
審査員奨励賞	花木	アルストロメリア	田中 学	JA信州諏訪
審査員奨励賞	花木	アルストロメリア	久保川 吉秀	JA信州諏訪
審査員奨励賞	花木	アルストロメリア	半田 航志	JA信州諏訪
審査員奨励賞	花木	アルストロメリア	山下 昌子	JAみなみ信州
審査員奨励賞	花木	アルストロメリア	百瀬 友満	JA信州諏訪
審査員奨励賞	花木	アルストロメリア	友満	JA上伊那
審査員奨励賞	花木	アルストロメリア	友満	JA上伊那

※表紙左下の写真／関東農政局長賞を受賞した三井さんの輪ギク「岩の白扇」

中古農機情報サイトを開設

JA全農長野農業機械課は8月29日（木）、中古農機情報サイトを開設しました。

JA組合員からの、生産コストで大きな比率を占める農機コスト低減に対する要望に対応するため、全農長野では、全国で取り組む共同購入トラクターの推進や、県域推奨型式の県域一括仕入れ等により、農業コストの低減に取り組んでいます。その一方で、JA組合員からは中古農機の需要も高まっています。

そこで、JA組合員の需要に応えるため、全農長野ホームページ内に、中古農機サイトを開設し、農機コスト低減策としての中古農機流通拡大に取り組めます。

利用対象は県内JAの組合員で、JAや全農長野が取り扱う中古農機を掲載します。お問合せをいただくと、その組合員が所属するJAが見積もり、代金決済、アフターサービスまで行



中古農機サイトURL <https://www.nn.zennoh.or.jp/chuko-nouki/>

農業機械課は今後、掲載機種の充実に向け、JAと連携して中古農機の掘り起こしを行い、サイトを充実させていきます。

います。

京都青果合同(株)で JA長野ハケ岳トップセールス

9月3日（火）、京都青果合同(株)でJA長野ハケ岳のトップセールスを開催し、管内産野菜のPRを行いました。当日はJA長野ハケ岳の由井和行組合長の他、JA代表者および市場関係者が出席し、盛大に執り行いました。

競り場に同JA産のハクサイなどが並べられる中、由井組合長が中央の競り台に立ち、「今年は厳しい気象条件の中、産地としても厳しい状況でした。これから残り2カ月、安全安心な野菜を精一杯出荷していくので、ぜひ皆さんにはより多くの野菜を買っていただくよう、お願いします」と挨拶をしました。

試食会場では多くの市場関係者や仲買人の皆さんが「長野県のハクサイは新鮮でおいしい」と味を確かめていました。

大阪販売事務所では、今後も積極的に消費宣伝活動を行い、本県産野菜の消費拡大に努めてまいります。



JA長野ハケ岳の由井組合長（左から4人目）、京都青果合同の内田隆代表取締役社長（同5人目）、JA長野ハケ岳の井出文専務理事（同6人目）など関係者

スマート農業研修会開催

自動化ロボットの最前線を学ぶ

今年度新設された生産振興部では、スマート農業の活用に向け情報収集を行っています。その一環として、最先端で活躍されている立命館大学理工学部の深尾隆則教授を8月27日(火)長野市にお招きし、「自動化ロボットの最前線」と題して講演をしていただきました。講演会の参加者は50名を超え、農業分野での研究成果や可能性を学ぶ良い機会となりました。

講師の深尾教授は、国の革新的技術開発・緊急展開事業で、「野菜生産の労働・ピーク軽減化研究」のリーダーや、「果樹生産の省力化」のサブリーダーを務めておられます。農業就業者数の減少・高齢化などの背景から、人手(労働力)不足を補う為の研究に参加されています。元々は自動車の自動運転に取り組まれた経過から、農業分野にも研究の幅を広げられてきたそうです。深尾教授は、次のように講演されました。「AI(人工知能)の進歩は目覚ましく、特に自動車関係では自動運転の技術が実用段階直前まで進んでい

ます。自動車産業界が進めてきた技術開発・革新の成果は、多くの車輛に採用されることでコストが抑えられ普及展開が図られています。農業分野では、農業機械の生産規模、電気系統に強いメーカーが無い事などから、開発速度は自動車と比べ遅いのが実態です。しかし、自動車の自動運転技術などが農業トラクタの自動運転、そして野菜・果実生産のロボット化・自動化に応用され開発が進められています。

現在、キャベツ・タマネギの自動収穫機の開発、自動フォークリフトの開発、自動飛行ドローン、栽培支援システムの開発などが進んでいます。露地野菜では集荷までのロボット化・自動化による省力体系の構築が進み、令和5年までの実用化を目指しています。キャベツの自動収穫機は、3台のカメラを使用して、キャベツが植わっている状態を1玉ずつ確認しながらカッターで自動収穫します。この自動収穫機は、収穫機の操縦者と搬出容器(コンテナ)に詰込む作業者との2名で行

う事が可能です。北海道鹿追町の実験では、生産者35名で行っている作業が、自動収穫機であれば2名で済み大幅な省力化が実証されました。また、満載になったコンテナを収穫機から圃場の外へ運び出すのも自動フォークリフトを利用する事で、更に労力・時間を削減する事が可能です。また、実例として集荷場所内でのコンテナの荷降ろしも自動で倉庫に格納されることや、無人運転トラックによる運搬も実証試験が始まっていることも紹介されました。深尾教授は、「これまでは出来ないと思われていたことも、実現できる可能性が高まっている。農業においては、栽培方法との融合が重要であり、『AI・計測・制御・機械・農学の融合』による農業のロボット化は、今後ますます進んで行く」また、「利用する側も、既存の栽培状況から機械等を判断するのではなく、機械等に合わせた栽培条件による対応も必要。その判断により、自動化・機械化の開発・展開のスピードやコストも大きく変わって



深尾教授の講演を熱心に聴く参加者

「シナノリップ」2年目の販売

昨夏、長野県オリジナル品種のリンゴ「シナノリップ」がデビューし、2シーズン目を迎えました。果実課では、引き続きシナノリップのブランド化を図るためのプロモーションに取り組みしました。

■8月10日(土)

シナノリップ キックオフ説明会

(場所／大田市場)

2年目の販売開始を告知すべく、品種紹介と試食会を行いました。

■8月24日(土)

シナノリップ セールスイベント

(場所／豊洲市場)



シナノリップ キックオフ説明会／大田市場



シナノリップ セールスイベント／豊洲市場



Local Green Festival 2019／横浜赤レンガ倉庫

小岩井乳業(株)とコラボレーションし、生乳ヨーグルトとシナノリップを組み合わせた試食イベントを行いました。

■8月31日(土)・9月1日(日)

音楽イベント「Local Green Festival 2019」に出店

(場所／横浜赤レンガ倉庫)

青果店のフタバフルーツと連携し、若者への訴求手段としてシナノリップを含む長野県産フルーツを音楽フェスイベントで即売。ストリートフルーツと銘打ち、リンゴ、プラム、プルーンの丸かじりをお勧めしました。

松本山雅FCアウェイ戦でナガノパープルをPR

J A全農長野は9月14日(土)、松本山雅FCのアウェイ戦(v s ヴィッセル神戸)でナガノパープルのPRイベントを開きました。イベントは中信地区の3市5村が組織する松本広域連合ブースに協力出展し、中信地区の観光パンフレットと共にナガノパープルのプチ試食を先着1,000名に配布しました。また、信州くだものクイズを行い、正解者の中から抽選で10名に、果汁100%の信州ぶどうジュース1箱をプレゼント(後日発送)しました。

ナガノパープルの試食は、ヴィッセル神戸のオフィシャルホームページで告知されたこともあり、開始時間前から100名ほどが並びました。「名前は知っている」「スーパーで見たことがある」と、ある程度の認知度はあるものの、「食べたことが無い」というお客様が多く、笑顔で受け取っていました。

今後このようなイベントを通じて、「食べたことが無い」から「おいしかったから買ってみよう」という購入のきっかけ作りに取り組みします。



くる」とお話しされました。生産振興部は今後も様々な情報収集を行い、県内生産者の栽培規模や経営面等も考慮しながら、情報発信を行い長野県の生産維持・拡大に向け取り組んでいきます。

10月12日(土)	長野県協同組合フェスティバル サンモリッツ	総務広報課
10月15日(火)	第42回信州きのご祭り 長野県きのご品評会 長野県庁講堂	きのご課
10月19日(土)	ハロウィーンストリート in NAGANO 善光寺表参道	きのご課
実施中～ 10月31日(木)	JA全農長野 フルーツフォトコンテスト“パシヤフル”	果実課
実施中～ 10月31日(木)	長野県産秋白菜キャンペーン	野菜花き課
実施中～ 11月30日(土)	長野県JA産きのごキャンペーン 『秋はきのごdeコード』	きのご課

区分 部門	実 績	計画比	前年比
野菜種苗センター	121	88	89
生産振興部計	121	88	89
米 穀	7,458	102	107
果 実	7,572	77	74
野 菜 花 き	31,646	89	86
き の 乙	5,542	103	111
営 業	5,105	86	94
生産販売部計	57,325	90	89
包 装 資 材	3,417	95	102
生 産 資 材	4,651	101	93
農 業 機 械	3,142	97	92
施 設 住 宅	3,022	186	172
生産購買部計	14,232	109	105
畜 産	5,701	107	98
三 岳 牧 場	131	108	105
SPF繁殖センター	128	101	98
酪 農	7,574	98	98
八ヶ岳牧場	105	97	99
畜産酪農部計	13,639	102	98
燃料・ホームエネルギー	9,718	104	98
S S 協 同 経 営	4,716	100	95
生 活	5,075	100	101
生 活 部 計	19,509	102	98
長野県本部計	104,824	96	94

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
10月15日(火) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	きのこの日
10月24日(木) 10:13	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「ラジオカーレポート」	ラ・フランス
10月23日(水) 11:50	SBCラジオ	坂ちゃんのずくだせえぶりでい内「暮らしの応援団」	米穀課出演
毎週火曜日 16:10	SBCラジオ	情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」	信州の牛乳・乳製品に関する様々な情報をお届け。リスナープレゼントもあります。

$$\overline{Y}$$

初めまして。大阪販売事務所で果実を担当しております。中洞章と申します。出身は木曽町です。大阪のおいしいものに囲まれ、体重の方が少々気になってきた今日この頃でございます。知らないことも多く、まだまだ社会人として未熟な身ではございますが、いち早く職員として成長し、長野県の果物をしっかりPRできるよう、がんばっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

JA全農長野

JA全農長野 フルーツフォトコンテスト

パシヤル!

@shinshufruits

ながののくだもの
ハッシュタグをつけて
アップしてください

フルーツと一緒に
写真を撮って、
Instagramで投稿しよう！
入賞者は、
豪華賞品もあります！

お問い合わせ

全県農業協同組合連合会
長野県本部 (JA全農長野) 専任課
フルーツフォトコンテスト係

<http://shinshufruits.com/>

〒380-0844

長野県長野市大字原野北石町 1177 番地 3
Instagram 公式アカウントのフォローと購読を促して、
公式アカウントまでフォローしてください

※このコンテストは、Instagram 公式アカウントのフォローと購読を促すものと、各県農業協同組合連合会、JA全農長野本部の協賛で開催されます。各県農業協同組合連合会、JA全農長野本部の協賛で開催されます。各県農業協同組合連合会、JA全農長野本部の協賛で開催されます。各県農業協同組合連合会、JA全農長野本部の協賛で開催されます。

応募方法

Instagram公式アカウント @shinshufruits を
フォローし、#ながののくだもの をつけて投稿してください。

● 応募期間 2019年9月1日～10月31日

● 発表発表 2019年11月15日

● 入賞商品

JA全農長野 フルーツフォトコンテスト



パシカル!



#ながののくだもの

ハッシュタグをつけて
アップしてね!

@shinshufruits



フルーツと一緒に
写真を撮って、
Instagramで応募しよう!
入賞者には、
豪華賞品もあります!

お問い合わせ

全国農業協同組合連合会
長野県本部 (JA全農長野) 果実課
フルーツフォトコンテスト係

<http://shinshufruits.com/>

〒380-8614
長野県長野市大字南長野北石堂町 1177 番地 3
instagram 公式アカウントのメッセージ機能を通じて、
公式アカウントまでお問合せください

※ご応募いただいた作品は JA全農長野のWebサイトへ掲載するとともに、JA全農長野の広告やポスター、チラシ等へ応募作品を掲載する場合がありますので、予めご了承ください。

※入賞者への連絡は、InstagramのDM機能を通じて連絡を行いますので、ご連絡の際にアカウントのフォローを解除していただき、1週間ご返事がいただけない場合には入賞を取り消す場合があります。

応募方法

Instagram公式アカウント **@shinshufruits** を
フォローいただき、**#ながののくだもの** をつけて投稿してください。

● 応募期間 2019年9月1日～10月31日

● 審査発表 2019年11月15日

● 入賞 & 商品 ※各賞の商品は予告無く変更になる場合がございます。予めご了承ください。

ファミリー賞



ワンダーシェフ
家庭用マイコン
電気圧力鍋 3L

ユーモア賞



Vitantonio
ガラスジョッパー
VCR-10

インスタ映え賞



ティファール
アクティフライ

JA全農長野賞



Amazon
ギフトカード
1,000円分

